

どうなる二千万円?

共同牧野の手付金

足寄と陸別
の農家五十戸
による共同牧
野(足寄町字
斗伏の養牧場
約八〇〇畝)
については旧
地主の故松林
磯太郎氏、長
尾兼介氏、青
森新次郎氏ら
放をうけたも
の、馬産振
興の時代も去
つて昨年は山
林に地目を変
更、おりから
の土地買い占
めブームに乗
つて四十社も
の業者が殺到して買い競つ
たもの、道議選で顔なじ
みの地元の宮口政雄氏が乗
り込んでようやく三十八名
をまとめて中間業者をへて
室蘭市の日本企業観光へ一
戸あたり三百六十万円です
買契約にもち込み三千万円
の手付金を受け取り各戸に
八十万円づつ配分したことは
既報のとおりですが、い
よいよこの三十日が土地の
引き渡しと残金(一戸あた
り二百八十万円)支払いの
期限となつていますが、果
してスナリといくのかど
うか疑問視されています。

りて売り渡すのでなければ
所有権の移転登記はできな
いというので、同社とし
ては仲介に入った人がいず
れ五十名はまとめるの話し
だつたので心外としてい
るようです。

地目変更が問題
この売買に参加しない道
上太郎、鈴木益夫氏ら十二
名の方は三十八名の行き方
に反対しているのではなく
自分たちの持ちは牧野とし
て残したいと主張している
ので、民法の規定によつて
も共有財産は総会の決議が
なければ処分はできないし
各人の持分は分割するの
が原則であり、農業委員会

足寄の困った土地買い占め

でも山林に地目変更のさい
の条件として「持ち分を残
したい組合員には優先的に
残すように」との念書を
組合からとつたものの、い
つたん山林となつてしまえ
ば農業委員会のラチ外の野
放し状態で、総会もなく売
りたいものと残したいもの
とが別れた形ですが、農業
委員会としては牧野に適し
た土地があり希望者があれ
ば地目変更のさいに区別す
ればよかつたものを、いつ
しよくにたいて山林とし
たところにも問題がありそ
うです。

るにしても土地の遠近、高
低、立木のあるなしなどで
各人に公平な配分は難しい
うえに、隣接の本洲製紙と
の関係で実面積は七五畝も
へつていることもあり、日
本企业観光としては三十八
名分の権利は買つたがその
土地はどの部分なのか見当
のつかない買物で、しかも
所有権移転登記もできない
とあつては、残金一億六百
八十万円の支払いどころか
逆に約束が違つて手付
金三千万円の倍返しを要求
するのではないかとみら
れますが、三十八名分の使
用権を売つたのだからそ
の分は登記できるのに残金
を支払わなければ契約不履
を売つるものも売つるものなら

転売の対象では
同社にしても土地ブロー
カー的存在でしかなく、ま
とまつた面積の土地の売り
ものがあればこれを大手業
者にまわしてサヤをかせぐ
だけのことで、この土地を
活かして地域の振興、発展
に寄与するという計画もな
かただ転売や投機の対象に
するだけの取引に町の有識
者がモロモロ的になつて
いるのは問題であり、売買
の混戦模様が開き始めるこ
とになります。

買うものも買うものといつ
たところで、農外資本にね
らわれる土地の買い占めに
町自体も無関心ではすまざ
れないことになります。

旧地主が仮処分
一方、この土地売却の動
きについて旧地主の松林
氏から農業委員会に出され
ていた養牧野の返還要求に
ついては、当時、自作農創
設の目的で適法に国が買収
して五十名に売却したのだ
から要求には応じられない
との農委からの回答をうけ
たので、松林、長尾両氏は
もともとこの土地は山林だ
つたのを農委の錯誤と過失
によつて牧野に強制買収し
たものとして国を相手に訴
訟の準備をすすめ、該地売
買差し止めの仮処分の手続
をとるともいわれ、そう
なれば問題はまさに三つ巴
の混戦模様が開き始めるこ
とになります。

町営で樹木園芸事業

足寄の自然休養村

道内では
小平町と二
カ所、農林
省から自然
休養村の指
定をうけた
足寄町では
その事業の
一環として
東部地区の
農業構造改
善事業にも
結びつけて、ことしから樹
木園芸事業を実施するこ
とにしています。

このために専従職員とし
て場長、技術指導員、管理
人、男子常備員など各一名
をおき、四月から十一月ま
では一日平均三十名の臨時
婦人作業員を雇用すること
になります。

音楽か騒音か
町の公的な祝賀会やある
いは結婚披露宴会などの
余興として、アマチュアバ
ンドの奉仕出演がよくあり
ますが、ご本人たちは一生
懸命にやつていられるはわか
りますが、若い人ばかりの
集まりではないのですから
その会場にふさわしい曲目
であつてほしいものです。
(足寄町 軽音楽ファン)

大野氏、十勝各
団体の議長に
足寄町議の大野耕太郎氏
ことになつています。

手付金倍返しも
いまとなつては、かりに
各人の持分として分割す
るに問題があり、農業委員

50名の共有財産
というのは、この土地は
五十名の共有財産でそれぞ
れ五十分の一つの権利は
あるものの、各人の持ち分
はどの土地なのか分割して
いないので、五十名の全員
が一致して日本企業観光な

街路樹などの育成をおこな
い、地域農家の就労、所得
増大をはかるとともに観光
客のいこいの場にしよう
とするものです。

読者の室
(投書歓迎)

家具建材 アルミサッシ
既製家具から注文家具
住宅産業に奉仕する
桜井家具建具店
足寄町北五区 T 二三三二 工場西五区

前田呉服店
足寄町駅前商店街 T 二〇三二

大浦建設
足寄町芽登 T 一一一
造園 土木 造林 造材 請負

足寄不動産事務所
足寄町本通り三丁目 T 二三四五

小林畳店
足寄町大通り山口養育前 T 二四二八

庭石は道東随一の当会社へご用
命下さい
造園 土木 造林 造材 請負
大浦建設
足寄町芽登 T 一一一

足寄不動産事務所
足寄町本通り三丁目 T 二三四五

足寄町大通り山口養育前 T 二四二八

調査 売買 あつせん 管理 分譲
代行 登記 損害保険 代理まで
間和、興和火災保険代理店
北海道免許 26
足寄町本通り三丁目 T 二三四五

足寄町大通り山口養育前 T 二四二八

足寄町大通り山口養育前 T 二四二八

長岡一代交配苗 お安く販売
早生キヤベツ 野菜専門家
ナス トマト 武藤野菜店
ナンバン 足寄町 T 二七二二

新量表替 中古畳 フスマ張替
二段ベッド 小林畳店
敷物一式 小林幸三郎
マツトレス 足寄町大通り山口養育前 T 二四二八

足寄町大通り山口養育前 T 二四二八

おでんスナック
シヤンプル
株式会社メーソン
足寄町南二区
T 二四三九

技術に生きる
テレビ
ステレオ
レコード
ステレオ
有線会社
ミネ・デンキ
足寄町三笠通り T 2642

足寄町三笠通り T 2642

機械らしい機械が誕生、
所有する誇りと使う満足
ハイメカニズムの結晶
新しい刈払機の歴史が
今はじまる—302デラックス
現金正価 47,000円



①オリジナルエンジン ④燃料タンク一体形
②防振装置内蔵形 ⑤燃料調整装置
③マグネシウム合金のダイカスト ⑥安全板標準装備

SRM-302DX

国産 舶来 各種チェーンソー 造林用刈払機 列物 電動工具

株式会社 鈴木鋸刃物店
足寄町大通り T 2307